

様式 4

令和 5 年度第 2 回 富士見市図書館協議会 議事録						
日 時	令和 5 年 9 月 2 2 日（金）		開会	午前 1 0 時 0 0 分		
			閉会	午前 1 1 時 0 5 分		
場 所	中央図書館 レセプションルーム					
出 席 者	委 員	出井委員長	檜山副委員長	小林委員	金高委員	今井委員
		○	○	○	○	○
		神馬委員	本木委員	野澤委員	金子委員	渡邊委員
		○	×	×	○	×
	事 務 局	○教育委員会生涯学習課 森田主査 加藤主任 ○図書館 長谷川中央館館長 田畑副館長 大里鶴瀬西分館長 下川ふじみ野分館長				
公 開 ・ 非 公 開	公開（傍聴者なし）					
次 第	1. 開会 2. 各館事業報告（令和 5 年度 6 月～8 月） 中央・鶴瀬西・ふじみ野 3. その他 ①図書館利用カードの電子化等について ②次回日程決定 4. 閉会					
配 布 資 料	・富士見市図書館協議会 令和 5 年度 9 月定例会次第 ・令和 5 年 6 月～8 月活動報告 （中央図書館・鶴瀬西分館・ふじみ野分館） ・さざなみだより（2023. 8 月号～2023. 10 月号） ・とびらしんぶん（2023. 8. 10 月号） ・BOOK ADVENTURES 2023. 9 月号 ・つるせにししんぶん（2023. 7. 8 月号） ・ぶんちゃんしんぶん（2023. 6 月号～2023. 7 月号）					
議 事 内 容						

図書館	1. 開会 開会あいさつ
図書館	2. 各館事業報告 【中央図書館】 ・資料に基づき報告 おはなし会、映画会の参加者人数は順調に伸びている。 外部連携の「ブックスタート」とは、1歳児健診時に絵本のプレゼントをするものであり、読み聞かせボランティアあいあいさんに一緒に入っていただき、行っている。 ロビーコンサートは非常に人気があり、どんどん参加者が増えていて、事前に問い合わせが入るほどである。 「テーマ展示」について。7月8月は夏休みに入るので、子ども達に本を読んでもらいたく、YAは「ブックアドベンチャー」、児童は「ほんのくにたんけん」を展開した。また、8月には健康増進センターとのコラボで「自殺予防」を取り上げた展示を行った。 自主事業の報告をする。ロビーコンサートの参加者は、6月は48名、7月は51名、8月は71名とどんどん増えている。コロナが落ち着いたこともあり、たくさんの方にいらしていただいた。 「子ども司書講座 めざせキッズライブラリアン」は毎年8月に実施している。夏休みを利用して3日間参加出来る子に、図書館司書が行う業務をいろいろ体験してもらう講座である。今回はおはなし会に読み手として参加もした。また今回は、参加した子供達同士が非常に仲良くなり、とても楽しかったという感想を多くいただいた。 8月の毎年恒例「こわ〜いおはなし会」。1部は図書館スタッフ、2部はすぷんふる（読み聞かせボランティア）に手伝っていただき、開催した。読み聞かせや工作会、パネルシアターなどを行った。とても笑顔あふれる「こわ〜いおはなし会」になった。 「調べる学習おうえん講座」について。夏休みの宿題にも調べ学習があるので、そのお手伝いをする講座である。スタッフが講師となり、計画を立て、準備をしていたが、開催日を日曜日としたため、「外出の予定がある」「日曜日じゃなかったら参加したかった」という声を

図書館	多くいただき、結局 1 名の参加にとどまった。来年度からは、日曜開催は行わないことにする。 【鶴瀬西分館】 ・資料に基づき報告 おはなし会についてはコロナが明けたという事もあり、だいぶ人数も増えてきた。映画会も記載の通りである。団体貸出、学校連携と続いているが、詳細は後の事業報告です。その他、展示の様子など写真をご覧ください。 8 月は夏休みで来館見込みもあるのでミニ展示も強化した。「平和についてちょっと考えてみる」「絵本でわかる SDGs」「ミステリー」も行い、貸出に繋がったと考えている。 学校連携につて、6 月はひまわり学級の読み聞かせを行った。「スペシャルおはなし会いちぶえいご」は 3 か月に 1 度おこなっており、リピーターもいる。6 月は参加が 1 組だったが、先日行った会には 4, 5 組の参加があった。なかには英語が苦手という子もいるが、3 歳児で単語をすらすら覚えている子の参加もあり、新しいところの開拓にもなっていると感じている。苦手な人向けには、日本語の本も合わせて読んでおり、おはなし会が一つのきっかけになってくれればよいと考えている。 「久しぶりにひとりで図書館にしてみる」は、普段忙しくて図書館に行けない、また自分のために図書館を利用する事が出来ない方、何歳でも良いが、こちらとしてはお子さんをお持ちで、なかなか自分のために時間を使えない方にむけて募集できれば良いと思っていた。やはり実際、普段子どもと一緒に図書館には来るのだけれど、今日は自分のために来たという方が多かった。また、図書館には来ているが西分館は初めて来たという方、普段はおはなし会などに参加しているが、この講座に参加して読んでもらう体験をし、読み聞かせについても再発見できる講座だったようだ。普段西分館を使っていない方へもアピールできたのではないかと思っている。図書館スタッフからのおすすめのコナーも講座の中で紹介し、本を借りる時間も設けたので、皆さん沢山借りて下さったのが印象深かった。 「手話付きおはなし会」は、富士見市障がい福祉課と一緒にいき、今回は対象をつるせ台放課後児童クラブとした。手話は思った以上にスピードが速く、手話ができる人同士だと、しゃべっているのと変わらない速さだった。また 1 冊は、手話通訳をつけるのではなく、手話だけで読み聞かせを行った。手話は動作などいろいろなもので表わされているので、絵を見ながらではあったが、手話の成り立ちが意外と身近な動作であることがわかった。市の方によると手話通訳者は全国で
------------	---

何千人しかいないそうで、富士見市は資格をお持ちの方が多いという特徴があるそうだ。

24日は「西の日」として、栞をお配りしている。

「よんだかなシート」とは、巻数を特定しづらいシリーズ、『かいけつゾロリ』など、まずは子ども達に読みやすいものから選び、ブックリストにした。これを夏休みに展開し、更に夏休みにもう少し読める本も置いて、利用者が効果的に本を借りられるようになれば良いと思い段階的に行っている。子どもだけでなく、おばあちゃん世代が子どもに進めるものとして手に取っていかれたのが印象的だった。

「七夕飾り」には、毎年同様に皆さんの願いことを笹につけさせていただいている。

7月の学校連携について、つるせ台小の1年生が来館した。夏休み前に来館していただくと夏休みの来館もスムーズになるのではないかと思い提案したところ実施できた。図書館の利用方法や本の紹介、すぶんふるの協力もえてのストーリーテリング、読み聞かせを交えながら行った。

YAサポーターの交流会の報告箇所に載っているのは、イベント実施に当たりYAサポーターがそれぞれ手書きでかいたポスターである。講座の告知で関係箇所、図書館ホームページ、フェイスブックなどにアップさせていただいた。どのポスターもいい捉えどころがあり、皆さんとても楽しんで作ってくれた。

「こわいおはなし会」は7月に実施。8月には「もっとこわいおはなし会」として実施した。子どもはどれくらいをもって「怖い」と感じるのか、「こわい」とついただけで子ども達はドキドキわくわくしながら入ってくる。終わってみると子ども達はほっとしてみたり、怖かったと思ってみたり、子どもによって怖さの度合いが違い、選書が難しいところではあるが楽しんで頂けたと思う。夏に向けて良いおはなし会だと思っている。

「調べ学習ワークショップ」は参加していただくと、どういう風にまとめていくか、もっとこういう風にすると良いなどコツわかるので参加してほしいと思う講座である。

「本との出会い 本の楽しさを知って、自分の思いを書いてみよう」は、1年生親子講座が2組、2～4年生講座も2人の参加だった。いろいろな所にアプローチしてみたが、人数的には振るわなかった。が、参加してくださった方は先生と感想をどのように膨らまして文章化していくか、コツなどを教えていただいた。7月に講座、8月に面談し、

表現方法を深めるというのが、長年子どもたちと接してきた先生ならではの講座だと思う。リピーターの参加もいる。

「わらべうたで遊ぼう！」は、6月に実施予定だったがコロナの影響もあり7月に実施した。Aグループ、Bグループに分け和やかに遊んで帰られた。11月にも行うが、その際はもう少し時間の見直しと工夫もして実施したいと考えている。

関沢児童館とのコラボについては、児童館が近くの公園でやっている講座であるが、雨や熱中症アラートが出た場合、やむをえず中止していたので、「図書館でやりませんか」とお誘いしたところ実現した。7月が熱中症アラートが発令されたため図書館で実施した。児童館の先生は図書館でやるという事で体を使う遊びではなく、頭を使うゲームをお持ちくださった。図書館は遊べる本を用意し、読み聞かせも行った。児童館と連携できたことで今月のおはなし会は、関沢の方から電車に乗って来てくれた方もおり、お互いの施設を使っただけの良い機会となった。

8月の学校連携は、31日につるせ台小4年生が来館。利用案内が主だったが今年度は1回限りでは終わらずに2回3回目と来館を計画している。

夏の児童配布企画「図書館クエスト」とは、夏休み期間中クイズに参加してもらおうとガチャを回せるもの。クイズの内容は図書館の使い方やマナーに関するもの。景品を用意するのが大変ではあったが、ガチャを引きたいということで沢山の参加があった。

「あの真夏のヒーローが芳香剤に大変身！！」はYAサポーターが企画立案し実施。4年生以上を対象としたが、実際は小学生のみの参加となった。材料の説明や本の紹介などもYAサポーターが行い、工作をしながら作り、出来上がった後は参加者やYAサポーターが品評会としてそれぞれの作品に感想を書いて講評した。こちらも素敵な土産となった。

「西ちゃんの調べる学習サマーバック」はこれも調べる学習の一助になればと用意している。今年度は3,4年生の利用が多かった。その他フラワーカード（アドバイスカード）のみ持っていられる方もいらした。

「本との出会い読書感想文」面談では、どの親子も直接やってみて「ここがわからなかった」ことを先生に相談し解決されていた。

図書館	図書館 YA サポーターの方でおはなし会をやってみたいという方に参加していただいた。 【ふじみ野分館】 ・資料に基づいて報告 おはなし会はプレイルーム、ふじみ野児童館、慶櫻ふじみ保育園で毎月行っている。子ども映画会も毎月 1 回幼児小学生を対象に行っており、8 月は 10 時から 1 時間以上の長い「すみっこぐらし」を上映したところ、これまでにない 34 名の参加があった。 外部連携として学校連携では 7 月は勝瀬中学校へ POP 講座に向けてボランティアガイダンスを行った。「ぬいぐるみおとまり会」ではボランティアの生徒さんが手伝ってくださった。また教職員 5 年次研修として先生も参加して下さった。 ふじみ野児童館では 6 月 24 日に青少年読書コンクールの課題図書のブックトークをさせていただいた。これは昨年から始めたものだが、昨年は水曜日の夕方に行ったが集客に結びつかず、今年度は土曜日に移して行ったが、参加数は同様であった。しかし、小学生に向けての読書推進を児童館さんと一緒に今後も行っていけたらと思う。 ふじみ野交流センターさんとの連携としては毎月開催されるふじみ野じゅくへの当日の資料提供と館内展示を行っている。 その他、7 月には 23 日人材バンクモデル事業の「忍者体験」と 28 日のピアザで開催された「こども大学ふじみ 防災のすすめ講座」に資料提供をさせていただいた。会場に資料を展示し、講座終了後の子どもの熱が熱いうちに図書館から資料を紹介させて頂けたので、沢山借りていただくことができた。今後もこのような機会に積極的に資料を提供させていただけると有難く思う。 テーマ展示について、8 月は戦争と平和ということが外せないテーマだと思うので、一般と文学の両方からアプローチしている。 また、夏休みは「調べ学習お試しパック」、「主人公が○年生、○歳」の本を集めて展示した。 館内廊下壁面企画は月の行事ごとに展開、7 月 8 月はスタンプラリーのおすすめ本紹介カードを掲示した。 自主事業の報告として、まず、ぶんちゃんひろば。対象は幼児から小学生、絵本の読み聞かせや関連資料の紹介を絡めていろんなことを行っている。6 月はハーブのラベンダーに焦点をあて、講師に来ていただいてラベンダースワッグやラベンダーティーをつくるワークショップをしていただいた。元になった本はあんびるやすこさんの『魔法の庭ものがたり』シリーズで、こちらのブックトークも行った。 7 月は「うちわの手紙をだしてみよう」。暑中お見舞いの時期であり、季節の風物詩である団扇をつかって大切な人に手紙を出してみようと
------------	--

いうもので、定員にはならなかったが、告知のために見本をカウンターに出しておく「団扇も送られるのですね。」と驚く方も多く、講座には参加できないが家でやってみるという方もおられ、手紙を出してみるきっかけになればよいと思った。

また、7月は夏休みスペシャルとして、「勝瀬中学校科学部の実験教室」も行った。内容も中学生が考え、空気砲と磁石を使った電車を通して科学の不思議を子どもたちと一緒に楽しんだ。参加された親御さんに科学部 0Bの方がいらっしゃり、科学部の歴史を感じる事ができた。またアンケートにこうした方がよかったのではといご意見もいただき、それは10月の勝瀬中学校科学部第2弾に活かしていくべく生徒さんが準備して下さっている。

8月は虫取りなどに親しむお子さんも多いので、昆虫に焦点をあてた。埼玉県立自然の博物館から講師をお招きし、スライドやクイズを交え楽しく教えていただいた。また昆虫標本もたくさんお持ちくださり、会が終わった後も標本の周りに集まって子どものみならず親御さんからもたくさん質問がでて、講師も時間の許す限りお話して下さった。

夏休み子ども科学講座「ドライアイスであそぼう」は例年同様仮説実験授業研究会の講師にいらしていただいた。この講座は数年前にも開催し、ドライアイスを使った実験は非常に人気があり、ドライアイスは身近であるけれども、不思議がいっぱいで気づきも多く、メモをとっている子どもも多かった。この講座は定期的にも開催しても良いと思われる。

「ぬいぐるみおとまりかい」は毎年恒例のファンタジー杯のおはなし会である。今年は夏祭りをテーマにした内容だった。今回アンケートをこれまでのおはなし会の後ではなく、ぬいぐるみのお迎え後にお願いした。アンケートでぬいぐるみを預けている間のお子さんの様子などもお聞きしたところ、「今頃どうしているかな？」などと、お家でも話題になっていたということで、図書館の行事がご家庭での話題の一つになってくれたのは嬉しい。

「勝瀬中学校生徒による小学生のためのPOP講座」は、今年初めての開催だった。開催趣旨は富士見市子ども読書コンクールが平成30年から開催されているが、年々レベルが上がっており、特に中学生のレベルが上がり、ならば地域の中学生のお兄さんお姉さんが、小学生にノウハウを教えてくれたらというのと、中学生と小学生が一緒に活動する場、地域の繋がりも作りたいという思いで、勝瀬中学校の校長先生、学校司書の先生にご相談させていただいたところ「ぜひやりましょう」ということで開催できた。ただ、集客が振るわなかったこととして、今回は富士見市子ども読書コンクールを前面に出してしまったこともあり、そうではなく読書推進を兼ねてやっていく方向で検討したい。その中で、中学生がボランティアとして多数参加して下さり、中学

	生の積極性に感動した。当日は小学生に対し中学生が多かったので、小学生が怖気づいてしまうかと思ったが、逆にお兄さんお姉さんが沢山いることによって会話も弾み、かえって和やかに進められてよかったと感じた。POP 講座を通して中学生と小学生の繋がりを図書館でもつくっていったらと思う。 「わくわくスタンプラリー」は夏休み中にスタンプを 20 個ためてくじ引きに挑戦するものである。スタンプはふじみ野分館で本を借りる、おすすめカードを書く、ポプラディアで調べる、クイズとしてお題の絵本をその場で読んで、簡単なクイズに答えるの 4 つであるが、今年は更にボーナスクイズとして 8 月は昆虫の講座もしたので「セミの抜け殻クイズ」も出した。参加者から「とても勉強になった」というお声をたくさんいただいた。今後もプラスアルファの新しい物を付け加えていきたい。 よみきかせしゃしんえほんのパネル展は岩崎書店刊行の「よみきかせいきものしゃしんえほん」のパネルをお借りして廊下に展示した。お子さんなのならず、来館した多くの大人の方も足を止めてご覧になっていた。同時に館内ではいきものしゃしんえほんのみならず、大人向けの昆虫の資料を展示したところ、多くの貸し出しもあり、好評なパネル展となった。 【質疑応答】
委員長	ありがとうございました。 相変わらず幅広い事業を展開してくれ、大変お疲れ様です。では、委員の皆様から質問、ご意見よろしくお願いします。
委員長	鶴瀬西分館のわらべ歌で A グループとあるが、B グループもあるのか。
図書館	B グループもある。今回報告書が多くなってしまったため、B グループは A グループと同内容なので割愛させていただいた。 赤ちゃんの成長は 1 か月 1 か月違うので、なるべく月齢の近い赤ちゃんと一緒にグループを組んであげたいと思っており、申込いただいた後に図書館でグルーピングをしている。また、どんな遊びをしたかお家でわからなくなってしまうのは残念なので、講師より今日はこんな遊びをしましたよというお手紙をお配りしている。お母さん方に子育てのすばらしさを知っていただける新たなきっかけにできたらよいと思っている。 10 月に開催するにあたっては、妊婦の方にも参加していただければと思っている。なかなか出産後の想像ができない中で、少し先の赤ちゃんを見る事によって、次はこうなっていくのかと安心して頂けるのではと思う。このような思いでわらべ歌講座を開催している。

委員	中央図書館の「めざせキッズライブラリアン」について、参加者に古谷小学校とあるが、市内の募集ではなかったか。
図書館	ぜひ参加したいというお子さんだったので参加していただいた。 以前、市内に住んでいて、市外に転校されたお子さんだった。
委員長	縁あって参加していただけるのは良い。
委員	西分館の学校連携について、つるせ台小、鶴瀬小、富士見台中学校と連携しているという事だが、学校の図書室と図書館の兼ね合い、線引きはどのようにしているのか。特につるせ台小は併設ということで、どのようにしているのか。
図書館	学校司書の仕事は、授業中の読み聞かせや、先生からの依頼の資料を集めることなのだと思う。
委員	図書室と図書館で利用の奪い合いにはならないのか。
図書館	基本的には倍使ってもらえるという感覚。本の選書も学校図書館と公共図書館では少しカラーも違うのではないかと考えている。授業の単元でこんな本を用意して欲しいと言われた場合、全く同じになるかというとも必ずしもそうではない。教科書に載っている本ならば複数本同じものが欲しいと言われることがある。
委員	その選書の時も学校司書と話すのか。
図書館	学校司書さんが実際に図書館にいらして、西分館の棚からピックアップすることもあり、その際カウンターでお話することもあった。1年を通して言えば12月に行っているスノーマンでのコラボもある。学校司書研修会でも情報交換している。また情報交換した方が良いものについては、学校司書さんにお手紙を出すこともある。
委員長	学校司書の勤務時間はどのくらいか。
図書館	小学校は週3日の1日4時間である。
委員	保健室登校や図書室登校している子もいると思うが、学校司書さんがいなく図書室が開かれていない場合、その場合は図書館に来ることもあるのか。
図書館	今のところ図書館の集会室は学校の持ち物で、図書館が管理しているという形をとっている。そして、図書館の行事もあるので、お子さん向けに定期的に開放していることはない。

図書館	現在、勝瀬中学校がボランティアで図書館に来てくれているが、その中に、保健室登校の子もいる。そういう子も図書館での仕事は楽しいと積極的に来てくれているので、図書館としては、そういう形で関わっていければと思っている。 また、図書館の集会室の開放にあたっては、そういった利用の話もあったが、定例行事で使いたいという声もあるので、限定的な使い方はまだできていないというのが実情である。
委員	集会室の開放ではなく、平日、図書館に児童が来て過ごすことはできるのか。
図書館	保健室登校などの子に図書館を使ってもらいたいが、なにか特別なことをしてしまうとかえって良くないと思うところである。
委員長	他に意見などないか。よろしいでしょうか。 では、中央図書館長より全体を通してこの３か月のまとめをお願いしたい。
図書館	報告にあったように、分館は小回りが利くという事もあってイベントをたくさん開催してくれている。夏休みのイベントでは調べる学習系など勉強系の募集はなかなか集まらなかった。 中央館については、託児サービス、各部署との連携として食育、自殺予防の展示、今月は高齢者福祉、11月は県の川に関する防災について連携する。また、今月は高齢者福祉に関連して認知症カフェを行い20名程度参加してもらった。
委員長	ありがとうございました。 事業報告については以上で終わりとしたい。 その他として図書館利用カードの電子化等について生涯学習課に願います。
生涯学習課	３．その他 ①図書館利用カードの電子化等について 配布している資料は、ホームページに記載する案である。 10月1日からマイナンバーカードの利用と携帯スマホから図書館の利用者ページにバーコードを表示させ、図書館利用カードとして使える仕組みを開始予定である。 マイナンバーカードについては、マイナンバーカードと利用者カードをお持ちいただき紐づけした後、次回からマイナンバーカードをタッチしていただくと図書館利用カードとして利用する事ができる。利用

	カードの電子化については、利用者ページにログインすれば、すぐにバーコードが表示される。今後このような形で利便性を増やしていきたいと思う。
委員長	質問を受けたいと思う。
委員	マイナンバーカードを導入する関連機器は高価だったのではないか。
生涯学習課	国の補助金対象になる。使用するパソコン、カードリーダー、テンキーと、システム導入費用の半額が国から補助される。全館 4 館で実施予定である。
委員	これと一緒に学校図書館とのシステム連携はできないのか。
生涯学習課	今回は別のシステムとなる。
	②次回日程決定 次回は 12 月 15 日（金）午前 10 時から中央図書館レセプションルームにて開催。
	4. 閉会